

警視庁
自動車運転免許試験官の仕事を紹介します

安全で快適な交通社会を支える
重要な仕事です。
自動車運転免許試験官の仕事と
その魅力をお伝えします。

【問合せ先】
仕事内容に関すること 警視庁府中運転免許試験場
Tel　042－362－3591
採用選考に関すること 警視庁採用センター
Tel　0120－314－372

警視庁
警察行政職員採用

Driving License Examiner

自動車運転免許試験官とは？

自動車運転免許取得を希望される受験者の運転に必要な知識、技能の確認を行うことが主な任務です。
私達の仕事は、安全で快適な交通社会の実現に直結します。

01

1 技能試験の実施

試験車両（四輪）に同乗し、受験者へコース教示を行いつつ運転状況を確認します。
法規に従った走行が出来ているかどうかを厳正かつ公平な視点で判断し、合否を判定します。
残念ながら不合格となった受験者に対しては、試験終了後、次回の受験につながるよう改善点をアドバイスしています。



2 免許取得の相談対応

「大型免許は何歳から取得できますか？」
「この大きさの車に必要な免許は何ですか？」
など受験者から寄せられる質問は多様であり、中には検討を要する難しい質問もあります。
免許制度は一般の方にとっては複雑な点が多いことから、安心して受験していただけるよう丁寧な説明に努めています。



3 指定教習所への指導監督

自動車運転免許試験官は、指定教習所（※）に対して、適正に教習や技能検定が行われているか指導監督する役割があります。
また、教習所職員を対象とした、教習や技能検定水準の向上を目的とした講義を行い、各教習所の教習レベルの均質化にも力を尽くしています。
（※）指定教習所とは、都道府県公安委員会が指定する自動車教習所のことです。



4 身体障害者の方への対応

○現に身体に障害があり、運転免許の取得を新たに希望される方
○運転免許をすでに保有しており、その後、身体に障害を負った方
を対象として、運転免許に関する条件付与の適否及びその内容について、実車又は模擬運転装置を使用し、厳正に判断しています。
なお、身体の状態が改善した方に対しては、限定解除審査の相談に応じています。



Schedule

ある一日の流れ

02

厳正公平かつ安全な試験を円滑に実施するためには、事前の準備が大切です。
技能試験課での一日の仕事の流れ（※）を見てみましょう。









7:45 仕事の始まり
当日の予定を確認し、課内ミーティングでスムーズに試験を行う準備をします。

8:00 外国免許切替の受付・実施
外国免許を日本の免許に切り替える技能確認のスタートです。

8:30 技能試験の受付・実施
大型車から普通車まで、仮免許や本免許の各種試験がスタートです。

11:30 成績表の点検審査
試験の成績表を確認・検証し、審査書類を免許証の交付部署へ引継ぎます。

12:00 休憩
昼食の時間です。
リフレッシュして午後の試験に備えます。

13:00 技能試験の受付・実施
午前中と同様の試験がスタートです。
火曜・木曜には二輪車の試験も行います。

16:00 成績表の点検審査
試験の成績表を確認・検証し、審査書類を免許証の交付部署へ引継ぎます。

16:30 退庁
明日の勤務に備え、今日の振り返りと明日の準備をして退庁します。

（※）上記に示すスケジュールは、標準的な場合です。諸事情により、時間等が変更となる場合があります。

Vehicle Introduction

試験車両の紹介

受験者が安心して技能試験を受験できるように車両の点検・整備を徹底しています。
丁寧な洗車でいつもきれいな状態を維持しています。

03

01 普通車



普通一種、普通二種、普通仮免許試験に使用します。

02 大型バス



大型二種及び大型仮免許(バス型)試験に使用します。

03 大型トラック



大型一種免許及び大型仮免許(トラック型)試験に使用します。

04 中型バス



中型二種及び中型仮免許(バス型)試験に使用します。

05 中型トラック



中型一種及び中型仮免許(トラック型)試験に使用します。

06 準中型車



準中型免許及び準中型仮免許試験に使用します。

07 牽引車



牽引一種及び牽引二種免許試験に使用します。

08 大型特殊車



大型特殊一種及び大型特殊二種免許試験に使用します。

09 大型自動二輪車



大型二輪免許試験に使用します。

10 普通自動二輪車



普通二輪免許試験に使用します。

11 小型自動二輪車



普通二輪免許小型限定試験に使用します。

Episode & Voice

先輩からの体験談

自動車運転免許試験官として採用された先輩に仕事の魅力や職場の雰囲気などについて尋ねてみました。

04



平成26年採用・主任

先輩からの一言①

都内の指定教習所で教習指導員、技能検定員として14年ほど勤務した後、自己の更なる成長を志して、警視庁の自動車運転免許試験官の世界へ飛び込み、上司や先輩の皆さんに支えられながら、自信をもって合否を判定できるまでに成長できました。

入庁後10年以上が経過し、後輩もでき、次代を担う頼もしい後輩を育成することが次の目標です。





令和５年採用・主事

先輩からの一言②

世界一安全な交通社会の実現を志して入庁しました。

先輩や上司との良好なコミュニケーションで仕事に対する不安はすぐに解消しました。

特に、試験後に受験者から感謝の言葉をいただいたときはとてもやりがいを感じます。

職場には車やバイク好きの方が多く休憩時間にはトークに花が咲きます。

私達と一緒に働きましょう！





令和７年採用・主事

先輩からの一言③

指定教習所で指導員をしていましたが、自動車運転免許試験官は教習所を指導監督する立場もあり、より高度な専門性のある仕事に魅力を感じて入庁しました。

当庁の教養研修制度は充実しており先輩も親切丁寧にサポートしてくれます。

自動車運転免許試験官の名に恥じぬよう、安全で快適な交通社会の実現のため日々精進しています。



Environment & Career

職場環境・キャリアプラン

05

自動車運転免許試験官として活躍するためには、採用後に実施される研修を受講する必要があります。
採用後の研修制度やキャリアプランについて見てみましょう。

充実した研修制度

1 研修時間

研修期間は、約１０か月間（６８０時間）です。
研修の講師は、経験豊富な先輩の自動車運転免許試験官です。

2 主な研修内容（座学・実務）

交通の方法に関する教則
自動車の構造及び取扱方法
自動車の安全な運転に関する知識
運転免許試験に関する法令等の知識
場内コース及び路上コース試験の同乗採点　など

ワークライフバランスに関する内容

1 各種休暇・休業制度

２０日間（最大４０日間）の年次有給休暇の取得が可能です。
夏季特別休暇（５日間）など各種特別休暇制度も充実しています。
育児休業など子育てや介護のための休業・休暇も取得可能です。

2 福利厚生

警視庁職員互助組合が提携している施設を割引価格で利用できます。
動物園やゴルフ場などのレジャー施設や飲食店が割引価格で利用可能です。

キャリアアップ

警察行政職員の昇任制度は「能力主義」に基づく昇任選考によります。
意欲と能力があり昇任選考をクリアできれば、より上位の職位で実力を発揮できます。
また、警察庁が主催する教養課程（運転免許技能試験官専科）を通じ、更なる実務能力の向上を図る機会もあります。

Recruit

採用について

自動車運転免許試験官として働くためには、採用選考を受けて合格する必要があります。
詳細は、警視庁採用サイトを御確認ください。

06

受験資格

運転免許試験官として必要な各種自動車の運転技能、運転適性及び自動車の構造、特性、並びに道路交通法令等に関する知識を有する人。
年齢要件等の詳細は、警視庁採用サイトを御確認ください。

試験内容

➤ 第１次選考

教養試験（一般教養：五肢からの選択式）
専門試験（職務に必要な専門知識についての記述式）
論文試験（課題設定：１,０００字以上１,５００字程度での記述式）

➤ 第２次選考

身体検査
適性検査
面接試験（人物及び専門知識についての個別面接）

勤務条件

➤ 勤務時間

原則として週３８時間４５分（１日：７時間４５分）の勤務時間です。

➤ 給与関係

初任給は２９０,４００円（令和８年１月１日現在）です。
一定の要件（職歴等）に該当する方は、加算対象となる場合があります。
その他、各種手当（期末・勤勉手当、要件に応じて扶養手当、住居手当、通勤手当等）が支給されます。

今後の採用について

今後の採用予定に関しては、警視庁採用サイトを御確認ください。

Workplace Tour

職場見学について

Driving License Examiner

自動車運転免許試験官の仕事に興味や関心がある方
是非、一度、試験場のコースを見学してみましょう
現役の試験官から直接、話を聞く絶好の機会です！

07

職場見学は随時、受付けております。
いつでもお気軽にご連絡ください。
皆様のお越しをお待ちしています。



【問合せ先】

警視庁府中運転免許試験場　技能試験課
電話　０４２－３６２－３５９１
（技能試験係　採用担当まで）